

地方創生関係交付金 令和5年度実施事業一覧

			令和5年度 KPI(重要業績評価指標)							
			指標名	実施前値		R5目標値	R5実績値			
①デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生推進タイプ 福知山市・丹波市・朝来市 3市圏域の競争力強化による「稼ぐ地域」創造事業 (R4～R6) + (R7～R8) 【事業概要】 3市圏域の地域産業・観光資源において、「経営力強化・起業促進・担い手確保」、「ICTの活用や人材の育成によるデジタル実装」、「地域ブランディング」、「地域の大学の知見を活用したコンソーシアムの立ち上げ」等により競争力を強化し、圏域への一体的な人・モノ・金の流れを作り出し「稼ぐ地域」をめざす。 ※KPI(重要業績指標)は、圏域全体の指標(括弧内は本市単独の数値)			起業支援制度を利用して起業した事業者数及び事業承継した事業者数	52件／年 (21件／年)		65件／年 (26件／年)	49件／年 (23件／年)			
			圏域内事業所への新卒就業者数	322人／年 (110人／年)		335人／年 (120人／年)	281人／年 (124人／年)			
			圏域内主要観光施設の観光消費額	2,728,411千円／年 (1,540,000千円／年)		3118,400千円／年 (1,793,400千円／年)	3,253,192千円／年 (1,623,615千円／年)			
			産学官連携による地域課題解決策の社会実装件数(累計)	0件 (0件)		2件 (2件)	7件 (7件)			
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価		
								主な意見	地方創生の効果	
									あり	なし
1	福知山市産業支援事業(ドッコイセ！Biz)	【福知山産業支援センターの運営】 センター長による相談業務により、事業者自身が気づいていない「強み」を見つけ出し、その強みを活かせるアイデアを提案する。 【福知山市販路開拓支援事業補助金】 市内の小規模企業者が、市内において製造、加工、開発された製品及びサービス等を不特定多数の者に周知することを目的とした展示会等への出展及びECサイトの構築にかかる経費の一部を補助金として交付する。	年間を通じて930件の相談に対応し、事業者の売上アップや販路開拓につながった事業者は135者であった。	産業政策部 産業観光課	3,719,688	1,771,000	B(相当程度効果が あつた)	(あり) ・引き続き新規の起業ニーズにも対応し、販路拡大に貢献してほしい。	4	0
2	起業おうえん事業	1 創業セミナー 専門家による創業セミナー(入門編、実践編)を実施 2 福知山市起業おうえん助成金 創業関連融資利用者に対し、約6か月分の利子相当額を全額補助する(上限90千円) 3 福知山市起業家支援事業補助金(補助率:ソフト事業1/2 上限200千円、ハード事業1/4 上限500千円) 市内で新たに起業する者、起業して1年未満の者に対し、起業に係る経費の一部を補助 4 NEXT産業創造プログラムに係る福知山市起業家支援事業補助金(補助率:1/2、上限1,500千円)※R4～ NEXT産業創造プログラムを修了された方を対象に、起業及び企業内起業に係る経費の一部を補助	創業セミナー、利子補給、補助金等の様々な角度からの創業支援を実施できており、補助制度については、創業時の経費面での負担軽減に有効である。 創業セミナー参加者アンケートにおいても満足度が高い。	産業政策部 産業観光課	3,812,861	1,906,430	B(相当程度効果が あつた)	(あり) ・各支援構成員の役割分担の課題に今後も留意して事業を遂行してほしい。 ・創業者支援の継続・拡充について、地域経済活性化及び雇用の確保等の観点から、ぜひとも検討をお願いしたい。	5	0
3	ふるさと就職おうえん事業(3市)	・合同企業説明会を開催し、市内企業と一般求職者、UJターン希望者等とのマッチング機会を提供する。 (綾部・福知山合同企業説明会in京都、京都北部7市町合同企業説明会、福知山・綾部合同就職フェア、ふくちやま就職フェスタ など) ・高校生ワークショップを開催し、市内の高校生に地元企業を知る機会を提供する。 ・北京都ジョブパークとの共催で、常時、各種セミナーやカウンセリングを実施し、市民の就業とスキルアップを支援する。 ・新入社員合同研修、企業ガイド発行、公正採用啓発、人権ふれあいセンターでのパソコン講座、就職支援セミナー、個別就職相談会を開催する。	就職イベントについては近年求人倍率が高水準で推移していることもあり、求職者の参加の確保が課題であった。参加者増加をめざしてダイレクトメールの発送などの新たな広報方法を取り入れたほか、より求職者に分かりやすくなるよう開催内容を充実させたことにより、合同就職説明会等には延べ470社、543人の参加があり、うち51人の就職内定につながるなど、いずれも前年度を上回った。 舞鶴市・綾部市と合同で開催した高校生企業研究会には高校生145人、保護者48人、教員18人が参加し、市内の若者へ魅力ある地元企業を知るきっかけを提供した。	産業政策部 産業観光課	500,000	250,000	B(相当程度効果が あつた)	(あり) ・就職イベントについては、参加者の確保が課題となっているものの、例年のイベントとして浸透しており、市民のニーズは一定あるものと認識している。今後、参加者の確保、企業の募集充足により自身も効果的な取組を検討したい。	5	0
4	「食」を通じた観光促進事業	公募により選出した市内21事業者の扱う「福知山特産品」をフックとした「福知山の観光」へ繋げる各種取組みを実施し、併せて市内にて食のイベントを展開する。 【ANAあきんど】・地域の魅力の発信拠点「TOCHI-DOCHI東京駅八重洲店」での福知山産品販売及び観光プロモーションの実施(7～9月) ・「収穫体験 福知山観光モニターツアー」の実施(10月・1月 年2回) 【福知山フロント】・食のイベント「Farmars Tables FUKUCHIYAMA EKIKITA」の開催(4・7・10月 年3回)	・7～9月:「TOCHI-DOCHI東京駅八重洲口店」での特産品販売及び観光プロモーション (公募により選出の21事業者25商品42種類の販売及びポスター、DVD等での観光PR) ・10、1月:「収穫体験 福知山観光モニターツアー」の実施。参加者:合計47名 ・4・7、10月:食のイベント「Farmars Tables FUKUCHIYAMA EKIKITA」の開催 6日間計、来場者数13,500人、延べ出店ブース数160店舗、店舗売上額約1,460万円	産業政策部 産業観光課	9,386,300	4,693,150	B(相当程度効果が あつた)	(あり) ・食は地域の文化。食品を単に売るのはなく、福知山の地域ブランドとリンクして、福知山に足を運んでいただき、食にまつわる「ストーリー」を多くの方に体感できる工夫が必要。	5	0
5	福知山PR戦略総合推進事業	◆明智光秀 ○光秀マインドプロジェクトVol.3福知山の姿 ○ナイトライブラリー ○福知山イル未来と(実行委員会に参加) ○みつひりーなど ◆鬼 ○鬼文化PR事業 ONiversal city project(キービジュアル、マラソン鬼の応援隊、鬼の絵本、鬼のお菓子、東京メディア向け発表会、絵本読み聞かせイベント) ○鬼鬼祭 など ◆市役所・市全体のPR力強化 ○他課プレスリリース添削・配信 ○メディアアプローチ ○フクレル内覧会・広告配信 ○職員PR研修 ○職員PRアワード ○特別顧問・秘書広報課職員による他事業へのPRアドバイス・支援 ○市内内外での講演 ○都市圏アンケート調査 など	○鬼文化PR事業 … 本事業の集大成として、節分に向けて地域の様々な団体と共に新たな福豆を開発し、東京のメディア向けに発表会を開催。全国ネットのテレビ4局を含む20社が出席。事業を通して約450件のメディア記事掲載。○市PR力強化 …他事業(福知山鉄道館フクレル)の開館PRを担当。市民とともに内覧会をつくりあげ、テレビ6社を含む17媒体が取材。フクレル全体で約350件のメディア記事掲載。○ナイトライブラリーで「福知山の姿」を深く知った参加者は、市民のシンビックプライドを表す3指標が大幅上昇。地域推奨意欲+9.6%(参加前)→58.5%(参加後) 地域活動感増17.4%→57.4% 地域参加意欲42.3%→78.7%。○メディア記事掲載件数数の広告換算額は、R3約10億円→R4約14.6億円→R5約14.7億円と高水準のまま増加。○R2～5の本事業での活動に対して、13アワードを受賞(R6年5月現在)。全国広域コンクール4年連続入選。R5は市内外講演・視察対応などでのノウハウ共有は20件(R4は9件)。市内中学校、自治体広報の全国大会、研修(JIAM)、書籍掲載など。	市長公室 秘書広報課	35,158,082	17,579,041	B(相当程度効果が あつた)	(あり) ・光秀・鬼の地域コンテンツを、特に若い人にもより響く様な仕組み(例えば、アニメ・メタバース)も取り入れて、より一層の福知山ファンを増やしてほしい。 ・光秀、鬼、鉄道以外に夜久野の星空に焦点を当てたPRもあっていいのでは。 ・福知山PR戦略の最たる事業として、今後につなげることが可能な事業。	5	0

地方創生関係交付金 令和5年度実施事業一覧

6	稼げる農業おうえん事業	福知山ならではの農林産物や加工品を「ふくちやまのエエもん」として認定することで、本市産品の新たな魅力を発見し、またアドバイザーからの専門的な知見を活用することで地域内外への発信や販路開拓のアドバイスを行い、収益力のある特産物の育成と生産者の収益、経営力向上を図る。 さらに、都市部への商談会等を案内することで、新たな販路開拓を図る。	令和5年度は新たに2品がエエもん認定品に追加された。 また、関東圏で開催された商談会に福知山市から2事業者が参加した他、東京駅八重洲口前で行われたPRイベントや島原市のイベントに出品するなど、市外に向けてPRすることができた。 さらに、市内向けのPRとして、三段池総合体育館にてエエもん認定品のマルシェを行い、一定の売り上げがあった。	産業政策部 農林業振興課	4,787,848	2,393,924	C(効果があった)	(あり) ・エエもんが本当に良いものであることを更にPRして欲しい。 (なし)・なぜ、「エエもん認定」が必要か？の原点に立ち返り、ふるさと納税制度とのリンクや他自治体のノウハウ分析などとともに、事業者支援や商品開発支援も促進してほしい。	3	2
7	「知の拠点」推進事業(産学官連携コンソーシアム事業)	福知山公立大学が主体となって設置したWEB上で情報発信や意見交換を行う産学公連携組織「北近畿コラボスペース」の運営に対する支援を行い、北近畿地域における産学公連携を推進した。主な活動としては会員増につながる広報活動や会員同士の連携を推進することを目的としたイベントを実施した。	・北近畿コラボスペースでは、分野ごとにチャンネルを設置し、チャンネルごとに産学公の関係者らが情報発信や意見交換をするものもある。登録会員数は160人を超え、多くの関係者がWEB上で一堂に会する場をつくることができた。また、会員はすべてのチャンネルを閲覧し、参画することができるため、分野を超えた横断的な連携の推進にもつながった。	市長公室 大学政策課	16,490,000	8,245,000	C(効果があった)	(あり) ・産学官の連携は、実現に時間もかかるが、各々の強み(得意分野)を絞ってアイデアを形に変える必要がある。その際、産・学・官の仲介組織が重要な役割を担うので、補強も含めて検討を。 ・更なる知名度アップに繋がるPR策が必要だと感じる。 ・福知山市を中心とした北近畿「知の拠点」＝公立大学の存在が証左される事業である。	5	0
8	「知の拠点」推進事業(福知山公立大学地域連携研究施設整備事業)	福知山公立大学における教育研究及び地域連携活動を通じて、地域社会を担う人材育成に活用するとともに地域の研究拠点として地域住民と協働しながら地域の課題解決に応える研究活動を行うため、教育研究環境の充実に必要な什器及び研究器具の整備を行った。	情報学を中軸とした地域協働型教育研を展開するための拠点であり、新たに開設される大学院「地域情報学研究科」において展開されるさらに高度な大学の知見を地域に還元することができる環境が整った。	市長公室 大学政策課	24,500,000	12,250,000	C(効果があった)	(あり) ・新大学院の今後の活躍に大いに期待する。 ・貴市を中心とした北近畿「知の拠点」＝公立大学の存在が証左される事業である。	5	0

地方創生関係交付金 令和5年度実施事業一覧

			令和5年度 KPI(重要業績評価指標)							
			指標名	実施前値		R5目標値	R5実績値			
②デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生推進タイプ 「海の京都連携都市圏」形成推進事業」(R3～R5)・(R6～R7) 【事業概要】京都府5市2町の相互連携と役割分担により、北部地域が一つの経済・生活圏を形成し、中核市にも匹敵する公共サービスや産業・商業規模、観光拠点や受け入れ態勢、交通機能等の都市機能を備える仮想的30万人都市の実現に向けた取組を進める。 ※KPI(重要業績指標)は、圏域全体の指標(括弧内は本市単独の数値)			圏域への移住世帯数	71世帯/年		101世帯/年	160世帯数/年 (22世帯数/年)			
			ワーケーション施設・テレワーク施設・サテライトオフィスの施設利用者	3,501人/年 (0人/年)		5,457人/年 (14人/年)	22,167人/年 (356人/年)			
			製造品出荷額	66,783,790万円		67,790,564万円	未発表			
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価		
								主な意見	地方創生の効果	
									あり	なし
9	海の京都DMO事業	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)に対する負担金 海の京都DMOが実施する主な事業 ・旅先納税(海の京都コイン)の導入、デジタルマーケティング ・インバウンドの推進等 ・WEB、SNSを活用した情報発信	京都府北部全体で観光による地域づくり、地域活性化のための施策を展開 【R5主要事業】 ・国内プロモーション(ウェブ・SNS、TV、ラジオ等を活用し「海の京都エリア」として一体的なプロモーションを展開) ・インバウンドプロモーション(FAMツアー、世界最大の旅行博「World Travel Market」出展) ・旅先納税の推進(全国初の広域での旅先納税をR4年度から実施) ・CRM等を活用したデジタルマーケティング推進 等	産業政策部 産業観光課	7,984,000	3,992,000	C(効果があった)	(あり) ・World Travel IMarketへの出展は評価したい。 ・域内での観光消費が多いものの、福知山市の消費が少ない理由(滞在施設・地域コンテンツの回遊性・DXのインフラ強化・No5事業とのリンク強化)を充分に見直ししてほしい。 ・北部地域を一つの観光単位として、海もある、山もある、城もあると、北部地域全体で様々な資源をアピールすることが有効。 (なし) ・“観光納税”という試みの面白さ。さらに訴求していくべき。	4	1
10	ふるさと就職おうえん事業(海の京都)	・合同企業説明会を開催し、市内企業と一般求職者、UIJターン希望者等とのマッチング機会を提供する。 (綾部・福知山合同企業説明会in京都、京都北部7市町合同企業説明会、福知山・綾部合同就職フェア、ふくちや就職フェスタ など) ・高校生ワークショップを開催し、市内の高校生に地元企業を知る機会を提供する。 ・京都ジョブパークとの共催で、常時、各種セミナーやカウンセリングを実施し、市民の就業とスキルアップを支援する。 ・新入社員合同研修、企業ガイド発行、公正採用啓発、人権ふれあいセンターでのパソコン講座、就職支援セミナー、個別就職相談会を開催する。	就職イベントについては近年求人倍率が高水準で推移していることもあり、求職者の参加の確保が課題であった。参加者増加をめざしてダイレクトメールの発送などの新たな広報方法を取り入れたほか、より求職者に分かりやすくなるよう開催内容を充実させたことよって、合同就職説明会等には延べ470社、543人の参加があり、うち51人の就職内定につながるなど、いずれも前年度を上回った。舞鶴市・綾部市と合同で開催した高校生企業研究会には高校生145人、保護者48人、教員18人が参加し、市内の若者へ魅力ある地元企業を知るきっかけを提供した。	産業政策部 産業観光課	805,737	402,868	B(相当程度効果があった)	特に意見なし	5	0
11	移住・定住促進事業(海の京都)	(1)京都府北部地域移住ネットワークづくり(民間プレーヤーと行政が協力して移住につながるプロジェクトを企画・運営) (2)地域Webサイト「たんたんターン」改修等 (3)高校生“みらい”会議(ふるさとへの関心や愛着を醸成し、将来的なUターンにつなげるためのワークショップ) (4)市町担当者連携会議(事業の進捗確認や今後の方向性について検討する会議)	(1)民間主導で3つのプロジェクト(①地域の人事、②遊びでつなぐ地域と人と、③お試し住宅利用率向上)を実施。 (2)地域webサイトの「たんたんターン」に移住支援に関する補助金制度などの情報を追加した。 (3)圏域内の公立市立合わせて10校23名の高校生が参加して圏域の移住者インタビュー記事を「たんたんターン」にて公開した。 (4)事業の進捗確認や次年度に向けての協議を行った。	地域振興部 まちづくり推進課	1,069,164	534,582	B(相当程度効果があった)	(あり) ・指標の推移からは、「B」よりも「C」に近いと感じる。定住促進には、まずは「魅力的な働く場」の確保と周りの市民の支援が必要。Uターン促進も含め、官民協働でさらに知恵を絞ってほしい。 ・今後さらに、関係人口を伸ばす方策が必要。貴市の全国的なPR必須。	5	0
12	広域連携推進事業	京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会における連携(福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町)で協議会を構成し、総会、連携深化PT、幹事会、各部会等を開催し、連携ビジョンやアクションプランに基づきデジタル田園都市国家構想交付金を活用しながら連携事業を推進した。	圏域で共通する地域課題等の解決を図るため、本市が幹事を担う教育部において、北近畿自治体合同キャリアガイダンスや自治体DXワークカレッジ、北近畿コラボスペースの活用を行った。	市長公室 経営戦略課	660,749	330,375	B(相当程度効果があった)	(あり) ・北部連携都市圏で、サービスライン別の連携や、特定のプロジェクト別(例えば、災害対応・広域での地域開発など)の連携など、まだまだできる範囲は沢山ある。行政区は別でだが、連携でのシナジー効果や、資源の融通など、更なる工夫を大いに期待する。 ・福知山市が出発点そして終着点になるエリア回路の開発が必要。	5	0
13	公共交通維持改善事業	・バス路線の維持確保を目的に、市内で路線バスを運行する事業者に対し、国・府と協議しながら財政支援を行った。 ・公共交通の利用促進を目的に、市内を運行する路線バスと鉄道の路線及び運行時刻等を掲載したバスマップ付時刻表を作成、配布した。 ・道路運送法の規定に基づき、専門的立場の関係者による地域公共交通会議を開催し、路線バスの路線変更、運賃改定や利用促進、また交通手段を持たない人に配慮した交通システム導入等に関する協議、調整、検討等を行った。	京都府北部地域連携都市圏公共交通計画に基づいて、自家用車に過度に頼らないまちづくりや広域観光と連携する公共交通の実現にむけ、公共交通事業者の人材不足の解消等に、参画市町連携で取り組んだ。	建設交通部 都市・交通課	110,132	55,066	C(効果があった)	(あり) ・人口減少・高齢化率上昇により、交通需要の量・質ともの変化し、他方、ドライバーの高齢化や人で不足で人だけに頼れる時代でなくなりつつある。したがって、「公共交通の自動運転」も視野にいれた対策が今後、ますます必要。 ・車を運転しない方々を生活の利便性から取り残さないために必要な取組と史料する。	5	0

地方創生関係交付金 令和5年度実施事業一覧

14	避難のあり方検討会推進事業	避難のあり方検討会における、最終とりまとめに掲げられた6つのテーマについて具現化を図るべく施策を実施している。 また、本事業内において「京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会」における環境・防災部会への予算も組んでいるところである。本協議会において災害時の応援協定を締結していることから、この枠組みにおける、5市2町の環境・防災関係の横の展開を進めているところである。	災害時の応援協定をスムーズな運営とするために、標準運用手順書の作成を実施しているところである。 また、これら応援を実施するにあたり、その調整の方法など訓練を実施するとともに、環境部会と合同で外来講師を招いた職員向け研修にも取り組んでいるところである。	危機管理室	74,172	37,086	C(効果があった)	(あり) ・地域防災におけるレジリエンスをアップするように、平時から地域の住民との連携を今後も十分に検討してほしい。	5	0
15	「知の拠点」推進事業	・北近畿地域の地域住民、行政機関、金融機関、企業、各種団体等との連携拠点である福知山公立大学の附属機関「北近畿地域連携機構」の運営支援を行うことにより、自治体や地域団体、民間企業等との共同研究、共同事業の実施を推進した。 ・福知山公立大学の附属機関である「数理・データサイエンスセンター」「地域防災研究センター」「国際センター」の運営支援を行った。	・北近畿地域連携機構と自治体、地域企業との共同事業や共同研究は、地域課題の解決や社会実装につながる新たな取組につながり、地域活性化に寄与している。 ・各センターにおいては、福知山公立大学が行う地域協働型研究の成果を地域に還元することにより、社会貢献や地域活性化に寄与している。	市長公室 大学政策課	33,699,333	16,802,165	C(効果があった)	特に意見なし	5	0
16	ジュニアIT人材育成事業	夏休み期間中に福知山公立大学の知見を活用した小中学生を対象としたプログラミング教室を4講座3日間連続で開催。丹波市・嵯峨市との3市連携事業として位置付け、2市からの参加も受け付けた。 【令和5年度実績】 ■小学生対象講座 ・ゲームでプログラミング 16名 ・プログラミング導入門 14名 ■中学生対象講座 ・ロボットカー製作講座 9名 ・サウンドクリエイト講座 6名 計45名	受講者に対するアンケート調査では、参加した全受講者が「今回の講座をきっかけにプログラミングに対し興味を持てた」と回答しており、将来のデジタル人材育成に向けた端緒となる取組の成果は出ている。	市長公室 大学政策課	1,600,000	800,000	C(効果があった)	(あり) ・良い試みだと思う。	5	0
17	スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)	有害鳥獣対策に先進的な知見を持つ兵庫県立大学の協力を得て、対策に意欲的な地域から選定した獣害対策モデル地区において、ICT機器等を効果的に活用し、地域・市・大学が協働して対策に取り組むことで、地域住民が主体となった獣害対策の体制構築を図り、それを市内全域に水平展開し、農作物被害軽減のためのノウハウを広めていく。	遠隔監視・遠隔捕獲が可能なICT囲いわなや遠隔監視可能な通信機能付き赤外線センサーカメラなどを用いて、獣の動きなどを可視化することにより、これまでは駆除従事者(狩猟免許保持者)のみが従事していた捕獲活動を、地域全体で取り組むことができ、地域の獣害対策に対するモチベーションの向上や農作物被害軽減に繋がった。	産業政策部 農林業振興課	9,922,907	4,961,453	B(相当程度効果が あった)	(なし) ・実際に、有害鳥獣被害が減っているのか、気になった。ITのランニングコスト確保については、当初は市の負担も考慮しつつ、本来は農産物に価格転嫁するか、農協や協賛いただける企業などからの支援金などで賄えないか。他団体の事例も調べてほしい。	4	1
18	シニアワークカレッジ運営事業	福知山公立大学の知見を活用し、AIやデータサイエンスなどビジネスの現場で活用できる情報学講座を福知山公立大学に委託。 【令和5年度実施プログラム】 ・シン・データサイエンスコース：7人 ・AI人材育成コース：2人 ・広報用動画制作コース：19人 ・組込みハードウェア設計コース：2人 ・ドローンの自動操縦で学ぶプログラミングコース：12人	ビジネスチャットツール(Slack)を活用し、講座開催日当日だけでなく普段から参加者同士や講師との意見交換を実施したこともあり、事後に実施したアンケート調査では、講義内容だけでなく参加者のネットワークづくりなどの面においても参加者の満足度が高かった。 コースによって参加者数にばらつきがあったが、シニア世代のみならず幅広い年齢層が参加があった。	市長公室 大学政策課	2,000,000	1,000,000	C(効果があった)	特に意見なし	4	1

地方創生関係交付金 令和5年度実施事業一覧

令和5年度 KPI(重要業績評価指標)										
指標名			実施前値			R5目標値		R5実績値		
④デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生推進タイプ 「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業（R3～R7） 【事業概要】 京都の魅力（文化、自然、食など）に関心を持って移住を希望する者が自身の生活環境のニーズが叶えられる地域を選択できる状態を整えることで府外からの移住促進を図る。 ※KPI(重要業績指標)は、京都府下の該当市町全体の数値目標として設定されている			モデル地域市町村における人口の社会減解消			△426人		△1,134人		
			市町村による重点取組エリアの設定			4箇所		25箇所		
			エリア内での起業数、雇用（関係人口の創出）			0件		未発表		
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価		
								主な意見	地方創生の効果	
									あり	なし
19	NEXTふくちやま産業創造事業	○機運醸成イベント「NEXT産業創造塾」開催 地域の「起業に挑戦する」風土を構築するため、先進地の講師を招聘し、先進事例に触れる機会を創出する。また、広く起業への機運醸成を図るとともに、地域間のネットワーク構築に繋げる。NEXT産業創造プログラムの周知も図るため、年2回程度開催する。 ○起業家人材等育成プログラム「NEXT産業創造プログラム」開催(委託) 起業や企業内起業等をめざす人を対象に、起業に必要とされる高度な知識やスキルを修得できるよう本プログラムを実施し、社会人の学び直しを推進する。本プログラムを通じて先進的な企業や起業家との交流を生み出すことで、新たな産業の創出に繋げる。 くめざす人物像>アントレプレナー、イントレプレナー等 <カリキュラム>基礎科目、事例研究型科目、PBL型科目 <開催時期>8月上旬～2月上旬(年度末に成果報告会を開催) <募集定員>15人	・令和5年度NEXT産業創造プログラムでは、募集定員15人程度のところ、20人が受講し、最終ステップまで進まれた修了者20人が5つの新規事業を創出された。 ・クラウドファンディングを活用しテストマーケティングを実施した1件で、74人から総額65万円の資金調達を達成された。	産業政策部 産業観光課	10,791,876	5,395,938	A(非常に効果があった)	(あり) ・失敗も含めて、若い人が新しいビジネスにチャレンジしやすい環境をさらに促進してほしい。 ・クラファン資金調達額がもう少し高いとい	5	0

令和5年度 KPI(重要業績評価指標)										
指標名			実施前値			R5目標値		R5実績値		
④デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生推進タイプ あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らしを」～みんなが主役の地域振興事業（R3～R7） 【事業概要】 関係人口の創出拡大や新たな付加価値を生み出す消費・投資を促進し、地域の稼ぐ力をつけるため事業を展開する。 ※KPI(重要業績指標)は、京都府下の該当市町全体の数値目標として設定されている			地域への移住者、地域活動にかかわった地域外の人の延べ人数			704人		924人		
			地域での新規就職者数			1,053人		1,373人		
			本業務により空き家等を活用して交流を行う拠点数			0箇所		7箇所		
			地域の一人当たりの所得向上額			3.60千円		183.6千円		
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価		
								主な意見	地方創生の効果	
									あり	なし
20	森の京都DMO事業	一般社団法人 森の京都地域振興社(森の京都DMO)に対する負担金 森の京都DMOが実施する主な事業 ・WEB、SNSを活用した情報発信 ・コンテンツ開発・着地型旅行造成・販売 ・マーケティング調査等	京都府中部全体で観光による地域づくり、地域活性化のための施策を展開 (R5主要事業)①マーケティング調査等による顧客拡大②認知度向上に向けた取組強化③地域開発推進事業④中長期滞在者等受入体制・環境の整備推進⑤地域の食を活用した観光地域づくりの推進⑥アクセス強化、二次交通誘客事業	産業政策部 産業観光課	6,464,000	3,232,000	C(効果があった)	(あり) ・エリア北部の周遊・消費が弱いのは、まだ地域資源の利活用や各地域インフラ(DXインフラ・ストーリー性・情報発信力)などが弱いのではないかと？	4	1
21	ふくちやまサードプレイスツーリズム事業	・体験型観光コンテンツのPR・販売を行うポータルサイト「北色」での販売額に応じて、補助率が変動する成果連動型補助事業を実施 ・観光客へのアンケートを実施し本市への観光客動向を委託事業によって実施	成果連動型補助金を活用した体験型観光販売実績は、体験者139名、販売額486,200円となり、補助金の交付対象販売額には至らなかったが、R4年度比で体験者約1.9倍、販売額約1.7倍と大きく伸びた。 観光動向調査においては、R4年度1,196サンプルを上回る1,213サンプルを回収した。	産業政策部 産業観光課	1,704,000	852,000	C(効果があった)	(なし) ・やはり、事業の成果(観光消費高など)をあげるために、集めたデータをいかに分析し、施策に反映していくのか？が重要である。 BtoBtoCも重要であるが、昨今はBtoCtoCが、特に若者にとっては重要と言える。	3	2
22	みんなのまちづくり推進事業	・自治基本条例推進委員会を設置し、まちづくりへの市民参画の状況把握や自治基本条例が適切に運営されているかどうかを検証・検討する。令和4年度からは「まちづくり構想 福知山」における市民懇談会からの21の提案の実現に向けて、委員会にて検討を行っている。 ・若者まちづくり未来ラボ運営(高校生・大学生が主体となったまちづくりに係るプロジェクト) ・地域住民センターに係る業務	若者まちづくり未来ラボ事業において、3つのプロジェクトが地域において活動した。学生自線からの地域公民館の利活用、データサイエンスから市内の防災を考える、開校となった小学校の校歌のアーカイブの取組などを通して、学生が地域に向き合うことで、地域に関わることへの学びを深めることにつながった。	地域振興部 まちづくり推進課	350,948	175,000	B(相当程度効果があった)	(あり) ・福知山は豊かな歴史と文化、自然を有す『博物館』と称して馴染む「まち」。「まち」とは、自分が生を受け生活する自分歴史を改めるために、その都度振り返り、見直すための舞台。「まちづくり」は大切な要素。	5	0

地方創生関係交付金 令和5年度実施事業一覧

			令和5年度 KPI(重要業績評価指標)							
			指標名	実施前値		R5目標値	R5実績値			
⑤デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生推進タイプ 移住促進により地域を元気にするプロジェクト「移住するなら京都」(R4～R6) 【事業概要】 自分の実現したい生き方や追いかけていたテーマに合った生活やダイバーシティに惹かれ様々な知識・経験・技能等を持った人が訪れ、活動し、暮らすことができる、多くの移住検討者に選ばれる「移住するなら京都」を目指す。 ※KPI(重要業績指標)は、京都府下の該当市町全体の数値目標として設定されている			京都府条例に基づく「移住促進特別区域」へ移住した人数(年間)	0人		500人	354人			
			京都府条例に基づく「移住促進特別区域」のうち、「移住者受入・活躍応援計画」を策定し地域の特性に応じた移住者や関係人口と協働で地域作りに取り組む地域数(新規取り組み地域)	0地域		7地域	8地域			
			当該年度の移住者の定住率(令和元年度実績の維持)	91.40%		91.40%	未発表			
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価		
								主な意見	地方創生の効果	
								あり	なし	
23	有償運送運行事業	・有償運送運営協議会の開催 3回 ・福祉有償運送実施団体活動事業補助金の交付 4団体 ・交通空白地域移送サービス事業費補助金の交付 3団体	交通空白地において、主に自家用車での移動が困難な地域住民の生活交通手段として、運行回数延べ2,946回、輸送人員延べ3,957人の移送を行った。	建設交通部 都市・交通課	4,923,000	2,461,000	A(非常に効果が あった)	(あり) ・地域移動の手段確保は、市民特にシニアの住民にとって重要な課題である。他方、当該補助事業が今後も持続可能となるように、自治体からの補助金以外の財源確保や効率性確保の方案も検討を。 ・地域の面積が広く、車を持たない方の生活・安全を確保するために必要な取組である。	5	0
24	未来につながる人と森づくり事業	・木育キャラバンの開催 ・夜久野の地域資源を再発見するイベント(マルシェを含む)の実施 ・地域づくりワークショップの開催 など	マルシェや木育イベントには、多くの来場者があり夜久野の魅力を市内外に発信することができた。	地域振興部 夜久野支所	944,362	472,181	C(効果があった)	(あり) ・夜久野で木育する理由はなぜか？ここを更に深掘りしてPRする必要がある。 (なし) ・貴市の財産を広く報じるため、市民活動の役割を更に強化する必要あり。	4	1
25	移住・定住促進事業(移住するなら京都)	(1)受入地域の意識醸成のための支援(各地域協議会、自治会連合会等との連携、移住促進特別区域指定に関する支援、地域による移住者受入体制構築支援) (2)農山村地域の活性化及び集落維持を目的とした空き家の利活用促進支援(空き家情報バンク制度運営、改修費補助金等) (3)移住希望者及び移住者に関する支援・情報発信等(移住促進ウェブサイト運営(地域情報・移住者インタビュー記事作成)、福知山暮らし体感ツアー、オンライン相談等) (4)京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会負担金(京都府北部7市町協働での情報発信、移住希望者分析など)	本市の移住促進ウェブサイトやSNSなどによる情報発信、各種支援制度の構築などの過去の積み重ねに加え、コロナ禍による地方移住志向の高まりも手伝って、空き家バンク制度の成約実績(移住実績)も成果目標を上回った。(令和4年度 25世帯52人、令和5年度22世帯44人)	地域振興部 まちづくり推進課	4,500,000	2,250,000	B(相当程度効果が あった)	(あり) ・ここ数年の指標の推移からは、「B」よりも「C」に近いと感じる。アフターコロナとなつて、福知山市に移住する魅力(実力)がますます問われることとなる。交流人口⇒関係人口⇒定住化へ導く一タラな仕組みを引き続き検討・実施してほしい。 ・大きな器としての京都府の良さは必要。ただそれ以上に貴市の存在は必須。その役割を自覚するとともに、もっと自己アピールが必要。	5	0

			令和5年度 KPI(重要業績評価指標)							
			指標名	実施前値		R5目標値	R5実績値			
⑥デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生推進タイプ 京都文化を背景として世界市場で存在感を放つ、京都の伝統産業の「生活文化提案型産業」への変革促進事業（R4～R6） 【事業概要】 海外進出等による新規マーケット開拓による「出口」支援と、業界の生産体制を再構築させていく施策を両輪で行っていくことにより、京都の伝統産業を、現代の生活様式に溶け込んだ「生活文化提案型産業」へと変革させ、業界全体の再生、再構築を図り、ひいては持続可能な後継者育成の仕組みを作り上げることを目指す。 ※KPI(重要業績指標)は、京都府下の該当市町全体の数値目標として設定されている			本事業において支援した伝統産業分野における販売額の増加	0億円		3.3億円	3.2億円			
			本事業を通じた伝統工芸品の商談成立数	0件		265件	448.0件			
			本事業における各種施策を活用して新たな市場に参入する事業者数	0事業者		330事業者	470事業者			
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価		
								主な意見	地方創生の効果	
									あり	なし
26	やくの木と漆の館事業	夜久野木と漆の館の施設管理及び事業運営 ・建物、物品管理の維持管理 ・漆器の制作、販売 ・漆に関する資料展示と広報宣伝活動、漆体験教室等の実施、ギャラリー展示	丹波漆の伝承と、漆塗や漆の絵付けなど様々な漆芸が学べる体験型施設として運営するとともに、漆器の制作販売や、漆芸作家作品等の展示、各種資料展示、体験教室などを通じて地域文化の振興を図った。 また、文化庁が国宝や重要文化財の修復に係る上漆を外国産漆から国産漆に切り替える方針を示す中、京都府も夜久野地域の漆の再生に向けて支援を強化しており、府・市・NPO法人丹波漆との連携が強化された。	地域振興部 夜久野支所	2,996,185	1,498,092	C(効果があった)	(あり) ・夜久野の漆文化は、貴重な地域資源であり、引き続き頑張っている。 ・取組みは評価できる。更にPRの強化を。	4	1

地方創生関係交付金 令和5年度実施事業一覧

			令和5年度 KPI(重要業績評価指標)							
			指標名	実施前値	R5目標値	R5実績値				
⑦デジタル田園都市国家構想交付金 デジタル実装タイプ 行政手続きオンライン化事業 (R5～R7) 【事業概要】 オンライン申請システムの導入、アウトリーチ型の相談窓口、マイナンバーカードを利用した申請書記入補助システムを導入し、市民の行政手続きの利便性向上と、移動困難者等への行政サービス提供手段を確保する。			オンライン申請を受け付けた数	—	1,000件	1,244件				
			Web相談システムにより支援した相談数	—	24件	11件				
			窓口申請書記入支援システムによる申請書作成回数	—	800回	1,773回				
			オンライン申請により短縮された申請に係る市民と職員の時間	—	25,000分	51,245分				
			Web相談により短縮された相談者と職員の時間	—	2,880分	1,320分				
			窓口申請書記入支援システム利用により削減された時間	—	880分	1,773分				
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価		
								主な意見	地方創生の効果	
									あり	なし
27	行政手続オンライン化事業	【オンライン申請システム】 オンラインでの本人確認や決済を可能とし、市役所に行かずに完了する手続きを拡大して、市民の利便性と事務効率を向上させる 【Web相談システム】 訪問する職員が端末を携帯し、移動困難者等と市役所の関係部署等とのWeb相談を提供 Web相談システムで申請書等を確認しながら手続きの支援を実施 包括支援センター拠点の連絡・研修の効率化 【窓口申請書記入支援システム】 マイナンバーカードの情報を申請書に転記することで、記入時間の短縮と記入間違いの防止 待ち時間の短縮により窓口混雑を軽減し、感染症拡大防止を図る	事業初年度であり、オンライン申請システムが5月、web相談システムと申請書作成支援システムは12月に導入されたため成果実績の数字は数か月分であるが利用状況は良好であり、次年度以降も更なる活用が見込まれることから、本市の課題に適応した使いやすいシステムが導入できたと考えている。	市民総務部 デジタル政策推進課	7,766,253	3,883,126	B(相当程度効果があった)	(あり) ・良いシステムだと思う。	4	1

令和5年度 KPI(重要業績評価指標)											
指標名				実施前値		R4目標値		R4実績値			
⑧地方創生道整備推進交付金 北近畿の拠点“福知山”ネットワークを強化する道作り計画 ～広域連携の強化小さな拠点を結ぶ地域連携の強化～ (H28～R4/R5継続) 【事業概要】 市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化を図る。				観光入込客数		792,139人 (H26)		1,000,000人		(R4) 820,00人	
				森林整備施策面積		373ha (H26)		587ha		(R4) 141ha	
				定住人口の維持		78,956人		76,524人		(R4) 76,402人	
				観光入込客数の増加		792,139人		1,000,000人		(R4) 820,000人	
				丹州材の出荷量		5,300㎡		10,000㎡		(R4) 2,769㎡	
				空き家情報バンク制度による定住者数の増加		61人		221人		(R4) 306人	
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価			
								主な意見		地方創生の効果	
										あり	なし
28	地域間交流促進ネットワーク事業(市道整備)	・地域版総合戦略(まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略)に基づいて、地域再生計画に位置付けて、自主的・主体的・先導的事业を実施する。 ・地方創生推進交付金を財源に、市道の道路改良・舗装改良を行う。 ・5箇年の年次計画に基づき、業務・工事の発注を行った。	地域間を結ぶ幹線的な道路など優先度の高い路線を選定し、舗装改良や拡幅改良を進めることで、地域間のネットワークの強化や安心・安全な道路環境を整えることに貢献できた。	建設交通部 道路河川課	43,384,000	21,692,000	C(効果があった)	特に意見なし	4	1	

地方創生関係交付金 令和5年度実施事業一覧

			令和5年度 KPI(重要業績評価指標)							
			指標名	実施前値	R5目標値	R5実績値				
⑨地方創生拠点整備交付金（現在は、「デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生拠点整備タイプ」） 北近畿デジタル田園都市拠点施設整備計画（R4～R8） 【事業概要】 福知山公立大学2号館の改修及び、新棟を建設することで、福知山公立大学情報学部の先端情報技術の知見を活用し、地元企業、デジタル関連企業等が共同研究するためのイノベーション創出拠点を整備する。 ※本プロジェクトについては、令和4年度に整備事業（歳出決算額:289,326,532円、交付金充当額:144,663,266円）を実施しており、令和5年度の事業費は0円であるが、プロジェクトの期間は令和8年度までであるためKPI等の事業検証を行う。			共同研究等のプロジェクトのうち社会実装を実現した件数（累計）	0件	1件	7件				
			数理・データサイエンス・AI教育を通じた課題解決型AI人材育成数	0人	30人	108人				
			福知山公立大学、京都工芸繊維大学、舞鶴工業高等専門学校、自治体、地域の企業等との共同研究プロジェクト件数	0件	1件	11件				
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価		
								主な意見	地方創生の効果	
									あり	なし
29	「知の拠点」推進事業	教育研究の高度化を図る大学院の令和6年度開設に合わせ、施設整備を実施した。	整備した施設において、福知山公立大学が持つ情報技術等を活用したプロジェクトを実施し、地域の情報化教育の推進に貢献した。	市長公室 大学政策課	0	0	C(効果があった)	(あり) ・新設大学院の今後の地域貢献に期待する。	4	1

					令和5年度 KPI(重要業績評価指標)							
					指標名		実施前値		R4／R5目標値		R4／R5実績値	
⑩地方創生拠点整備交付金 （現在は、「デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生拠点整備タイプ」） 「『知の拠点』整備構想」産学官連携拠点整備計画（R1～R5） ※今回R4,R5分を評価 【事業概要】 地域企業や行政機関との共同研究機能、情報人材育成に向けた地域住民、社会人、企業職員等を対象とする情報学に関するリカレント教育機能、京都工芸繊維大学との国立・公立の文理連携を含めた産学官連携機能を備える情報教育研究拠点施設を整備する。 ※本プロジェクトについては、令和元年度に整備事業（歳出決算額:207,994,000円、交付金充当額:102,283,000円）を実施しており、令和5年度の事業費は0円であるが、プロジェクトの期間は令和5年度までであるため、令和4・5年度分のKPI等の事業検証を行う。					福知山公立大学、京都工芸繊維大学による地域企業との共同研究プロジェクト件数		0件		(R4)6件 (R5)16件		(R4)7件 (R5)11件	
					両大学と地域企業等の共同研究プロジェクトにより創出された産業振興に資する新商品、新サービス等の開発(実用化)件数		0件		(R4)3件 (R5)6件		(R4)4件 (R5)5件	
					社会人等へのリカレント教育を通じた地域情報人材の育成		0人		(R4)225件 (R5)350件		(R4)449件 (R5)239件	
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価				
								主な意見		地方創生の効果		
										あり	なし	
30	「知の拠点」推進事業	地域企業や行政機関との共同研究を通じて北近畿地域の産業界への情報技術の導入、社会実装をすめ、地域の生産性を高めるプロジェクトを実施するため、施設整備を行う。	整備した施設において、福知山公立大学が持つ情報技術等を活用したプロジェクトを実施し、地域の情報化教育の推進に貢献した。	市長公室 大学政策課	0	0	C(効果があった)	(あり) ・引き続き、地域貢献に資する活動を期待する。	4	1		

地方創生関係交付金 令和5年度実施事業一覧

令和5年度 KPI(重要業績評価指標)										
指標名			実施前値			R5目標値		R5実績値		
⑪地方創生拠点整備交付金（現在は、「デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生拠点整備タイプ」新鉄道館の整備による持続的な歴史・文化の継承と顧客の拠点化計画（R4～R8）			年間入館料等収益(累計)			0百万円		35百万円		
【事業概要】 本市の地域資源である鉄道テーマとし、「人・モノ・情報が集まり、繋がり、ここを起点・結節点として、観光周遊や地域へのシビックプライドの醸成を図る(ハブ・ステーション)」をコンセプトに、福知山城公園内に新鉄道館「フレール」を整備する。			小人入館者数(累計)			0人		10,000人		
※本プロジェクトについては、令和4年度に整備事業(歳出決算額288,178,000円、交付金充当額144,089,000円)を実施しており、令和5年度の事業費は0円であるが、プロジェクトの期間は令和8年度までであるためKPI等の事業検証を行う。			年間観光消費額			154千万円		179.34千万円		
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価		
								主な意見	地方創生の効果	
									あり	なし
31	(仮称)福知山鉄道館ポッドランド建設事業	・展示制作業務 ・物品搬出・動輪設置業務 ・外構・周辺整備工事	明智光秀を主役とした大河ドラマ放送を契機に全国から本市への注目が集まる福知山城天守閣や、丹波生活衣館、佐藤太清記念美術館などの本市の歴史・文化施設が集積するエリアに、本市の近代化を支えた明治期以降の鉄道を中心とするまちの歴史を紹介する新たな文化継承・集客施設が完成したことで、更なる人の流れを創出するとともに、「鉄道のまち福知山」としてのアイデンティティの継承やシビックプライドの醸成に寄与している。	産業政策部 産業観光課	0	0	A(非常に効果が あった)	(あり) ・「博物館」としての利用度上がる施策の必要性。	5	0
32	福知山鉄道館運営事業	・福知山鉄道館の維持管理 ・福知山鉄道館及び鉄道のまちの周知に向けた企画展示、イベントの実施	明智光秀を主役とした大河ドラマ放送を契機に全国から本市への注目が集まる福知山城天守閣や、丹波生活衣館、佐藤太清記念美術館などの本市の歴史・文化施設が集積するエリアに、本市の近代化を支えた明治期以降の鉄道を中心とするまちの歴史を紹介する新たな文化継承・集客施設が完成したことで、更なる人の流れを創出するとともに、「鉄道のまち福知山」としてのアイデンティティの継承やシビックプライドの醸成に寄与している。	産業政策部 産業観光課	0	0	A(非常に効果が あった)	(あり) ・「博物館」としての利用度上がる施策の必要性。	5	0

令和5年度 KPI(重要業績評価指標)										
指標名			実施前値			R4目標値		R4実績値		
⑫企業版ふるさと納税(応援税制)「福知山市まち・ひと・しごと創生推進計画」（R1～R4）※今回R4基金充充分を評価			長田野工業団地アネックス京都三和稼働区画数60%増			10区画		19区画		
【事業概要】 福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする、福知山市への新しいひとの流れをつくる、結婚・出産・子育ての希望をかなえる、時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携するを基本目標とし、福知山市の持つ特性・魅力を生かした独自性のある戦略・施策を推進・展開する事業			福知山公立大学への入学者数			一人		200人		
			合計特殊出生率			1.96%		2.02%		
			自主防災組織の組織率			71.25%		95.0%		
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価		
								主な意見	地方創生の効果	
									あり	なし
33	「知の拠点」推進事業	・企業版ふるさと納税を活用し、地域課題解決等に向けた研究活動や学生への短期留学支援や教育研究環境の整備のため事業による国際化に係る人育成基金」を創設し、諸活動の充実向上に必要な事業の実施に運用した。 ・企業版ふるさと納税を活用し、学生の継続的な修学を支援するため、学生食堂等で安価で購入できる食の支援等を実施した。	・令和5年度においてオーストラリアへ6名、台湾へ3名の短期留学を実施。	市長公室 大学政策課	10,000,000	10,000,000	C(効果があった)	(あり) ・若い人が海外経験をされ、コミュニケーション力の向上、グローバルな視野・発想の獲得・海外人脈の構築などを得ることは重要。その成果は直ぐには評価しづらいですが、海外留学生数のみならず、対象者の適正化や最適なプログラム、研修の効果を広く発表する機会確保などにも留意してほしい。 ・留学支援への補助額はもう少し引き上げてほしいのではないかな。	4	1
34	消防車両更新事業	・消防ポンプ自動車1台を更新整備した。	老朽化した消防ポンプ自動車を更新し、複雑多様化する各種災害に対応する体制強化することができた。	消防本部 消防課	43,780,000	20,000,000	B(相当程度効果が あった)	(あり) ・消防事業は、安心・安全にとって極めて重要で、福知山市は広域なので、ドローンなどの新たなツールの導入も必要かもしれない。将来の市の安定した財務状況を勘案しつつ、(国庫・県費)補助金や事業債の活用を引き続き検討してほしい。 ・地域の安全のため必要な取組。	4	1

令和5年度 KPI(重要業績評価指標)				
指標名（＊印の指標が今回の検証対象事業に関わる指標）		実施前値	R5目標値	R5実績値
	＊ 市内総生産額	390,885百万円(推計)	39,8773百万円	—
	卸売・小売業および宿泊・飲食サービス業の産出額	43,447百万円(推計)	44,168百万円	—
	農業産出額	5,890百万円	7,230百万円	—
	林産物(素材)の生産額	452百万円	370百万円	—
	就業率	56.7%	56.7%	—
	ワーク・ライフバランスが取れている人の割合	43.1%	—	—
	空き家情報バンク制度を通じての移住者数	71人	40人	44人
	まちづくり活動に市外の人と一緒に参加した人の割合	－	44%	20%
	家族以外に、子育てに関して相談したり、頼りにする相手がいる人の割合	－	92%	66%
	＊ 子ども(就学前)を健やかに育てていると感じている人の割合	－	91%	78%
	中学生の質問紙調査において「挑戦心、達成感、自己有用感等」の回答が肯定的な生徒の割合	挑戦心 70.3% 達成感 90.3% 自己有用感 81.7%	挑戦心 72.0% 達成感 94.4% 自己有用感 72.0%	挑戦心 —% 達成感 —% 自己有用感 —%
	＊ 避難訓練の参加者数	14,346人	24,000人	30,300人
	健康寿命	男性79.1歳 女性83.1歳	男性79.38歳 女性83.46歳	男性 一歳 女性 一歳
⑬企業版ふるさと納税 第2期 福知山市まち・ひと・しごと創生推進計画（R5～R8）				
【事業概要】 まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(企業版ふるさと納税)				
	平均寿命と健康寿命との差	男性1.9歳 女性3.9歳	男性1.74歳 女性3.66歳	男性 一歳 女性 一歳
	自宅で看取られて亡くなった人の割合	－	17%	—
	介護サービスの質・量に対する利用者満足度	－	65%	92.7%
	自然保護・景観保全・利用促進に参加したことがある人の割合	－	64%	57%
	日常的な通勤・通学・買い物・受診・行政手続きの手段の確保が困難な人の割合	－	15%	16%
	スポーツ関与率	36%	53.50%	44.2%
	文化・芸術活動実施率	87.1%	88.2%	47%

地方創生関係交付金 令和5年度実施事業一覧

			自殺者数	22人			0人	11人		
			生涯学習で得られた成果を生かして地域・市民・文化活動などに参加した人の割合	－			24%	21%		
			まちづくり活動に関わったことがある人の割合	－			77%	62%		
			遠隔医療での対応患者数	10人			20人	－		
			エネルギー自給率	12.5%			20.8%	－		
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価		
								主な意見	地方創生の効果	
									あり	なし
35	NEXTふくちやま産業創造事業(企業版ふるさと納税)	○機運醸成イベント「NEXT産業創造塾」開催 地域の「起業に挑戦する」風土を構築するため、先進地の講師を招聘し、先進事例に触れる機会を創出する。また、広く起業への機運醸成を図るとともに、地域間のネットワーク構築に繋げる。NEXT産業創造プログラムの周知も図るため、年2回程度開催する。 ○起業家人材等育成プログラム「NEXT産業創造プログラム」開催(委託) 起業や企業内起業等をめざす人を対象に、起業に必要とされる高度な知識やスキルを修得できるよう本プログラムを実施し、社会人の学び直しを推進する。本プログラムを通じて先進的な企業や起業家との交流を生み出すことで、新たな産業の創出に繋げる。 ＜めざす人物像＞アントレプレナー、イントレプレナー等　＜カリキュラム＞基礎科目、事例研究型科目、PBL型科目 ＜開催時期＞8月上旬～2月上旬(年度末に成果報告会を開催)　＜募集定員＞15人	・令和5年度NEXT産業創造プログラムでは、募集定員15人程度のところ、20人が受講し、最終ステップまで進まれた修了者20人が5つの新規事業を創出された。 ・クラウドファンディングを活用しテストマーケティングを実施した1件で、74人から総額65万円の資金調達を達成された。	産業政策部 産業観光課	4,411,000	1,000,000	A(非常に効果があった)	特に意見なし	4	1
36	小学校スクールバス管理運行事業	・遠距離通学となる小学校児童の登下校および校外活動におけるスクールバスの運行 ・老朽化した既存スクールバス(2台)の更新 ・スクールバス(25台)への置き去り防止安全装置の取り付け ・スクールバス(25台)の維持管理	老朽化した車両の更新により、スクールバスの安定的な運行を実現することで、遠距離通学を行う児童の安全な手段が確保できた。また、置き去り防止装置の設置により、事故を未然に防ぐことが出来る環境を整備した。	教育委員会 教育総務課	75,134,959	9,000,000	B(相当程度効果があった)	(あり) ・スクールバスの空き時間の活用は考えられないだろうか。 ・児童の安全確保のため必要な取組。(なし) ・学童の安全な活用を、周囲の大人たちが、その通行路の安全性を必定として管理・監視する。	4	1
37	災害時資機材整備事業	・「福知山市備蓄物資整備計画」及び京都府の「公的備蓄等にかかる基本的な考え方」に基づき、避難所運営等に係る備蓄品や資機材を整備 (1)広域避難所の開設に伴い消費した備蓄品の補充 (2)消費期限や使用期限のある備蓄品を順次更新	避難者が避難しやすい環境を整備するため、女性や要配慮者に配慮した物資の充実を図るとともに、避難所運営等に係る備蓄品や資機材を整備し、備蓄食料と資機材の充足率を高めることができた。	危機管理室	136,000	136,000	C(効果があった)	(あり) ・必要な取組だと思う。	4	1
38	福知山鉄道館運営事業	・福知山鉄道館の維持管理 ・福知山鉄道館及び鉄道のまちの周知に向けた企画展示、イベントの実施	明智光秀を主役とした大河ドラマ放送を契機に全国から本市への注目が集まる福知山城天守閣や、丹波生活衣館、佐藤太清記念美術館などの本市の歴史・文化施設が集積するエリアに、本市の近代化を支えた明治期以降の鉄道を中心とするまちの歴史を紹介する新たな文化継承・集客施設が完成したことで、更なる人の流れを創出するとともに、「鉄道のまち福知山」としてのアイデンティティの継承やシンビクプライドの醸成に寄与している。	産業政策部 産業観光課	16,595,000	2,100,000	A(非常に効果があった)	特に意見なし	4	1